会報

第　41　号
2016年（平成28年）
８月吉日
広島県立呉工業高等学校
くれこう同窓会
ＴＥＬ（0823）71－2177
ＦＡＸ（0823）71－2179

ご挨拶

同窓会会長　山路　惠司
昭和49年　電気科卒業

会報第41号発刊にあたりご挨拶させて頂きます。

卒業生の皆さんお変わりなくご活躍の事とお喜び申し上げます。

また日頃より同窓会の活動に対し、ご理解ご協力頂き心より感謝申し上げます。

数年前、我が母校が10数年間「体育祭」を開催して無い事を聞きビックリ致しました。私の持っているアルバム同様、どの卒業アルバムにも、授業、部活など日々の学校生活、修学旅行、文化祭、そして体育祭などの様々なシーンが載っているものと思っていましたが十数年間我が母校の卒業アルバムには体育祭のシーンは載って無かったようです。

長い間休止されていた催しの再開にあたり、ここ数年、学校、生徒会、ＰＴＡの皆さんが色々と苦労された結果やっと本年開催される運びとなりました。同窓会も優勝旗を寄贈させて頂き、体育祭当日「くれこう同窓会寄贈」の文字の刺繍された優勝旗が優勝チームの手に渡されました。

昨年の「くれこう同窓会会報」第40号の随想に寄稿頂いた、脇篤夫様から、同窓会を経由して在校生の役に立てて欲しいと、昨年から2回に分けてご寄付金を頂きました。「出来れば、個人向けの３Ｄプリンタとか…新しい技術を身に付けるために役立てて欲しい。」との思いで、インターネットで調べられた情報も同封されていました。

脇様の後輩への温かい思いやり、ご意向に沿えるようにと学校、役員会で検討し、寄付金で３Ｄプリンタ本体を購入させて頂き、材料費を同窓会、３Ｄ ＣＡＤの環境と操作指導を同窓会会計の高下様にご担当頂き3年生が取り組む、「課題研究」に使って頂けるように準備を進めています。

皆さんの卒業された母校は80年近い歴史と伝統の中で、２万人近い卒業生が巣立っている歴史ある学校です。同じ校舎で学び、同じ校歌を歌って卒業して行った皆さん、それぞれ進む道は異なっていても同窓会をご縁とし、新たな出会いや再会の場として同窓生同士「絆」を深めて頂けるよう、秋の「同窓会総会」には一人でも多くの卒業生、先生にご参加頂けるようお願い申し上げます。

最後に、母校の益々の発展のため今後も変わりないご協力をお願い申し上げますと共に、同窓会会員の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念致しましてご挨拶とさせて頂きます。

「くれこう同窓会の皆様へ」

校長　前原　廣榮

くれこう同窓会会員の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より物心両面からのご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

特に、今年度は３Ｄプリンタを寄贈して頂くことになり、導入に向けてソフトの準備や操作方法の習得等準備を進めさせて頂いているところです。ものづくりにおいて汎用性の高い３Ｄプリンタは、課題研究や実習といった授業のみならず、マイコンカーやアイディアロボット等の部品作りなどで大いに威力を発揮してくれることと期待しております。

また、今年度は15年ぶりに体育大会を再開させました。長い歴史を持つ体育大会が、何かの事情で中断されたものと思いますが、呉工業に通う生徒のエネルギーを結集した活躍の場は、何としても必要であること。また、近隣の高校や他の高校で出来ていることが呉工業ではできないことは、大変残念なことであるとの思いもあり、実施しました。残念ながら、体育大会を予定した週は、雨の日が多く気象警報の発表で臨時休業になったり、或いは土砂崩れ、倒木などにより交通遮断が各所で発生し登校できない生徒がいるなど、十分な条件で実施することができなかったことが大変心残りですが、取敢えず再開だけは果たすことができました。また、再開に当たっては、くれこう同窓会からも立派な優勝旗を寄贈していただきました。優勝旗には、くれこう同窓会の名も入れさせて頂きましたので、体育大会とともに末永く大切にし、受け継いでもらいたいと願っています。

一方、残念なお知らせもあります。昨年度の同窓会総会等でもお伝えしておりましたので、ご存知の方も多いかと思いますが、今年度から機械科2学級と材料工学科1学級（合計120名）をくり募集（一括募集）として、機械・材料工学科2学級（合計80名）になりました。従って現1年生は、電気科1学級、電子機械科1学級を合わせて計4学級、合計160名が定員です。最盛期には1学年8学級（320名）を設けておりましたが、少子化の影響等もあり半減したことになります。全校生徒を前にしたとき、生徒数の少なさに寂しい思いがするとともに、産業の集積都市である呉の工業高校として、これ以上生徒数を少なくしてはいけないという思いで一杯です。そのためにも一層地域から信頼され、期待される学校を目指して努力してまいりたいと思います。

設置学科並びに在籍状況　５月１日現在　（　）は女子内数

学科（学級数）	1年生	2年生	3年生	計
機械・材料工学科（2）	79（7）	—	—	79（7）
機　械　科（2）	—	78（3）	71（2）	149（5）
電　気　科（1）	40（3）	38（1）	32（3）	110（7）
電子機械科（1）	39（1）	38（4）	32（3）	109（8）
材料工学科（1）	—	27（15）	35（10）	62（25）
計	158（11）	181（23）	170（18）	509（52）

その他、部活動の状況、工業関係の大会記録、資格取得、進路状況等につきましては、紙面後半に一括して掲載させていただきました。県内での優勝や全国大会に手が届きそうな部活動も多くあります。同窓会の皆様からの変わらぬご支援をお願いするとともに、会員の皆様のますますのご健勝ご活躍を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

くれこう同窓会総会のご案内

日時／平成二十八年十一月五日(土)
午後六時～総会・懇親会

場所／呉阪急ホテル
（呉市中央一丁目一番一号　℡〇八三―二二〇―一一一一）

会費／6,000円（同窓生）
（平成二十八年卒業生は2,000円）

お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。

お問い合わせ　くれこう同窓会事務局
呉工業高校内　℡〇八三・七一・二一七七

随想　私の歩み

昭和42年機械科卒業
尼田　成次

■呉工業高校から日本鋼管へ

昭和42年（1967年）呉工業高校の機械科（M3B）を無事に卒業しました。その後の進路について、私は呉造船（現：石川島播磨重工）を希望しましたが、当時は在籍中の成績優秀者しかこの造船所への受験が許されず、入社試験を受けることすら断念せざるを得ませんでした。

しかし、呉造船の受験組が出揃ったその時、あの大手の日本鋼管（現：ＪＦＥスチール株式会社）から呉工業に初めて求人要請がありました。

〝捨てる神あれば拾う神あり〟とはまさにこのことで、待機中の私一人がこの日本鋼管福山製鉄所を受験することになったのです。結果、入社が決まりましたが。のちに社長が社内報で語ったところによると、この時の入社試験の選考基準はひたすら体格重視だったとか。そういえば身長や体重の上下制限はじめ、裸眼視力

1.0以上など厳しい条件をクリアした同期入社のメンバーは、皆スポーツクラブの出身者で、それもマネージャーかチームキャプテンという強者（つわもの）ばかりでした。私もテニス部に所属し、日々トレーニングや練習に汗を流していましたが、この学校生活が思いも寄らぬ功を奏したことは言うまでもありませんでした。

■食品会社営業へ

日本鋼管福山製鉄所には２期生として入社しましたが、この製鉄所にはまだ熱延工場しかありませんでした。周辺は埋め立て地で、地面もぶよぶよしていて、所々沼地のような状態でした。夜の見回りでは、人がその沼地にはまっていたり、重機が陥没していたりして、今思うと信じられない光景を見ましたが、埋め立て年目とたばかりの土地に、工場建設後２年目の状況では、無理からぬことだったかも知れません。

私の所属は、熱延工場仕上げの圧延、という部署で、製鉄所の見学コースにもなる花形の仕事場でした。今から50年近く前に、すでにコンピュータが導入され、圧延機７台を運転管理するという面白い部門でしたが、三交代勤務と日常の生活のギャップに対する将来の不安が次第に募り、６年間務めた後、職を辞する決意をしました。

その後は兄の務めていた食品会社の営業部に転職しましたが、この頃ちょうど結婚も重なり、私の人生でもっとも環境が激変した時でした。鉄板という無機質なものの製造から、人を相手に食べ物を売るという対極の仕事ながら、営業職は私には合っていたようで、以降定年までその任務を全うすることができました。この会社で36年間は、その重責から大変な思いもしましたが、後輩たちが順調に育ち、風の便りにでも、跡を引き継いでくれているのを聞くのは嬉しい限りです。

■ギタリストとレスト制作へ

第二の人生は、定年２年前の58歳からスタートしました。14歳から続けてきた趣味のクラシックギターを何とか極めたいと思っていたのです。遅まきながらギタリストへの挑戦です。幸い日本で初めてクラシックギター科が創設されたエリザベト音楽大学が広島にあり、東京から著名なギター講師が毎月来広していることを知りました。それを聞けば居ても立ってもいられず門を叩いたわけですが、同時に同大学の聴講生として一般公開されている音楽理論の講義も２年間休まず受講して、かつてないほどの勉強に身を置きました。

音楽とは誠に不思議な学問で、いい音を奏でるためには、演奏の技術と机上の理論のみならず、人間性や人生の経験値、自身の生き方や生死観までもが問われる、年を経ていても、いや年齢を重ねるからこそ、奥義を究めることが出来るのだと、この年になってようやく気付きを得ます。

勉強をむだにしないように、そして何か人の役に立つ仕事をしようと考え、クラシックギターを演奏するとき、不安定な姿勢により腰を痛めないように使う支持具（レスト）の制作を思いつきました。自宅に工房を構えましたが、このとき41年前、呉工業高校の機械科で習った知識がどれほど役に立ったか知れません。機械の購入や製品の開発設計書の作成や治具の制作など、どれ一つをとっても、あの時、教えて貰った基礎がなければなし得なかった…。更には世話してくれた友人の甲斐氏をはじめ、クラスの面々にも機械の事など詳細な相談ができたのも助けになりました。ほんとうにありがとう。

ここに改めて御礼申し上げます。

これからも体力の続く限り、クラシックギターの演奏技術とギターレストの制作技術の向上に励むつもりでいます。最後に、どんな時もわがままな私を支えてくれた妻に心から感謝を伝えたいと思います。

是非、お立ち寄り下さい…

昭和49年計測工業科卒業
岡本　邦男

昭和49年３月に計測工業科を卒業しました。ずいぶんと昔のことになったので、覚えていることは少ないのですが、当時は制服がなく私服で登校していたことと、体を壊して入院したため、卒業できるかヒヤヒヤしたことが思い出されます。

卒業後は、東京でエレベーターのメンテナンス会社に就職しましたが、一年ほどで呉が恋しくなり蒲刈へ戻りました。

その後、縁あって流川の寿司屋に弟子入りし、平成元年には海田町に店を持つことが出来ました。店の名前は「海鮮・寿司くに勝」といいます。ラジオの渋滞情報に登場する「大正町交差点」のすぐそばです。（海田町南大正町三丁目・☎０８２―８２４―３４３１）

昨年、還暦を期に、店を大改装して長男に任せましたが、元気にやれるうちは一緒にやっていきたいと思っています。

先日、同窓の濱田先生ほか呉工の先生方に宴会でご利用いただき、この原稿を引き受けました。呉からは少し離れてはいますが、同窓のみなさまにも是非ご来店いただきたいと思ってのことです。ふるさとや母校を懐かしみながら腕をふるいたいと思いますので、ご来店の折には「同窓会報を見て来た」とお知らせ下さい。

私の歩み

昭和52年機械科卒業
東　忠昭

昭和52年に卒業し、今年平成28年（昭和91年）39年の月日が流れました。時々母校へ行く機会があります。その度にあの時の思い出が蘇ります。まず浮かぶのは学食のうどんとラーメン、同じ出汁では有りましたが美味しかった、２時間目と３時間目の休憩時間で弁当を食べ、お昼ご飯は学食のうどん又は、ラーメン記憶に残っている印象は美味しかった！です。今食べてみるとどうなのか？答えは利かずに置きます。

現在もですが学校には色々な設備、機械、器具が有ります。当時から興味津々で使いたくて仕方がありませんでした。授業ではすべての機械を使用しなかったと思います。それは残念でしたが、腕が必要な機械、計算が複雑な機械、取扱が難しい機械、そして作品（お釈迦に近かったかも？）が出来上がると大変嬉しかったのを思い出します。

私は現在モノ造りに関わる商品の販売を仕事としています。お客様の中には呉工の先輩や後輩が沢山いらっしゃいます。話は戻りますが、今でもあの頃の機械や設備たちが、現役で動いている物が少なくありません。同じ環境で習った同胞同士、同窓でもあり親近感がわきます。

そして先生から習った事、職場では学びえぬ技術も有ります。物足りなさも感じつつ（失礼します）、今では優秀な技術者も沢山いらっしゃると思いますが、其々の方々のモノづくりの原点が母校に有るように思えます。私も本来はモノ造りに興味があります。仕事とは別にモノ造りの会に属して悩み粘り切磋琢磨しています、そんな中で母校での体で覚えた事や知識が、工業高校ならでは基礎的な学習が、色々なところで多角的に役に立っている様に思います。職人の厳しさが有る先生方の技術の高さと教える熱意　そんな母校に只々感謝している次第であります。

よく学び、遊んだ学生時代と現在

㈲日本プラント設計
昭和56年機械科卒業
高下　朋彦

卒業させていただきまして、早35年の年月が流れました。

島の自宅からバスでの通学、片道１時間30分掛かっていました。往復３時間です。随分長い時間掛けて通学していたように思うでしょうが、当時はこの時間が一番楽しい時間で、長くは感じませんでした。なぜかと言うと男女共学のはずが、女子生徒０人の実質男子校へ行く間、他校の女子学生に唯一出会える場だったからです。当時、硬派でシャイだったので、声など掛けられませんでしたけど・・・。

機械科だったので一日中、実習の日には作業服で通学する曜日も有りました。

クラブは軟式野球部に所属しており、毎日の練習前には、グラウンドを挟み、体育館の向こうの坂道を駆け上がったかと思うと、今度は体育館のそばの階段を下る。これを何周か繰り返し走っていました。時には大空山まで競争とかいう試合は二河球場や、今はない広球場（現在のオークアリーナ）でやっていました。先輩後輩の躾もしっかり有り、「今日お前、挨拶がなかったな！」と先輩から忠告受けたりして、練習もかなり厳しかったです。

クラブ以外でも遊び友達はかなり出来ました。試験の時はクラブも休みです。早く帰路に着けますから、ちょっとだけ勉強あとは楽しい時間の始まりでした。

当時の流行ですが、松田聖子がデビューし、女子学生の大半が思い出しちゃんカットをしていました。他には竹の子族、横浜銀蠅のリーゼント、歌手ではアリスやサザンオールスターズがヒット曲を出していたころです。インベーダーゲーム、パソコンの元祖であるパーソナルコンピュータPC-9801が発売され、面白いゲームの出始めだったころでした。

こんな私でも要所々々で、これ大事と思ったところは勉強していました。機械製図・設計等々、当時から要領だけ良かったように思います。

卒業後、大学に進学しパソコン関係の学部に入りました。ここでもしっかり要所はおさえ、高校時代と同じような学生生活を過ごし、友人は多く出来ました。私の奥さんもこの時代に出会いました。

そして大学卒業後、㈲日本プラント設計に入社し、30年余りが経ちました。おかげ様で、現在経営者として会社経営、ものづくりに関連した設計業務、新卒採用を含む人材募集、技術者の育成など毎日頑張せていただいております。

今でも当時の恩師、先輩、後輩とは付き合いも深く、仲良くさせて頂いており呉工同窓生の絆の様なものを感じております。はじめて知り合った方でも、呉工卒と聞いただけで何となく、お互い仲良くなれます。

現役学生さん、勉強も大事です。しかし先輩、後輩の境目なく知り合いを作っておくのも将来の財産になる事を認識して、大いに交流を図ってもらいたいと思います。

私は呉工を卒業して、本当に良かったと現在感じております。
最後に、呉工業高等学校ならびに同窓会の更なる発展を祈念しております。
今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

当時を振り返って

ジャパンマリンユナイテッド㈱
昭和60年機械科卒業
向田　和生

私が呉工を卒業してから約30年の歳月がたちましたが、今回随想を書く機会を頂きましたので当時の事を振り返りたいと思います。
私は、機械科で製図や鍛造・鋳造・旋盤の実習そして部活を通してたくさんの事を教えて頂き、多くの仲間と楽しい高校生活を送らせて頂きました。
その中でも部活は、自転車部と写真部の二つに所属していました。自転車部は人数が少なかったですが日々校内のランニング等で体を鍛えたりして毎年夏休みに実施される三泊四日のツーリングに備えていました。
この、毎年の夏休みに実施されるツーリングは三泊四日で山口県の周防大島を一周して戻ってくるというツーリングで部員全員が参加しテントや道具等を手分けして積み呉から約一二〇キロある周防大島まで行き、まずは橋を渡った所で一泊して次の日は島の先にある陸奥記念館に寄りその近くで二泊、三日目は島から岩国の錦帯橋まで帰って来て三泊し最終日に呉に戻ってくるのが恒例でした。
約30年前なので、今ほどは暑くなかったかもしれませんがやはり夏なのでテントキロ等を積み荷物を背負って一二〇走るのは楽な事ではありません。朝早く呉を出発し国道を車列を組んで走り休憩を挟みながら夕方には島に到着し、そこからテントを立てたりと食料の買い出しに行ったりと今思い出すとよく三年間出来たと思います。
二年生になった頃には、トレーニングの一環として毎日自転車で通学し、中畑のバス停で同級生たちと待ち合わせをして学校への坂道を上がっていたことを思い出します。
三年目の最後の年は、自分が部長をさせて貰いましたので色々な経験をさせて頂きました。
もう一つの部活の写真部は、部としてはそんなに動いた記憶はないですが高校総体で呉工の選手の活躍を撮ったり文化祭で各クラスの催し物を撮ったりしていました。その中で、一番思い出に残っているのは、その年の卒業生の卒業アルバムでクラスの生徒が撮った写真を使うことになり自分が写真を撮り最後にアルバムに載せるページの構成もすべてさせて頂いた事でとても貴重な体験でした。
そして、高校生活で一番楽しかった思い出はやはり修学旅行です。私たちの時は関東方面で、湖で遊覧船に乗ったり宿泊先の品川プリンスホテルでは他の部屋に遊びに行くのに見張りの先生の目を掻い潜り部屋まで行ってもオートロックなので入れずに見つかって怒られたりしました。
その中でも、印象的だったのは東京ディズニーランドに初めて行けた事です。私の記憶が正しければ、確か開業二年目だったと思います。その日は平日で小雨混じりだった為か、ほぼ呉工生しかおらず、すべてのアトラクションに並ぶ事無くすぐに乗れるという今では考えられないくらいの切状態？で時代の流れを改めて感じております。
まだまだ沢山の思い出がありますが、これ以上は長くなりますのでまた次にお話しさせて頂ける機会があればさせて頂きたいと思います。
私は呉工を卒業後、広島電機大学（現・広島国際学院大学）の機械工学部（来秋工学科）に進学、そこでも充実した五年間？を過ごしその後様々な仕事に就いてきましたが、現在は「戦艦大和のふるさと」でもあるジャパンマリンユナイテッド（前・IHIMU）で造船の仕事に就いています。
仕事の内容は、船には海水に触れる所・荷物を積む所・機関室等の場所や用途によって塗装する塗料が変わってきます。その為に、どの塗料がどれだけ必要かを算出する必要がある為に其々の面積を計算しなくてはなりません。その面積を、図面を見ながら計算する仕事をしています。
今思えば、高校で機械製図を習った事によって多少図面の種類は違いますが抵抗なくこの仕事に入って行けたように思います。
これから、仕事に於いては後輩の育成にも力を入れ、「くれこう同窓会」に於いては自分に出来る事は積極的にご協力させて頂きたいと思っています。
最後に、母校の益々の発展と同窓会会員のご活躍とご健勝を心よりお祈りさせて頂きます。

「振り返り（一期一会）」

㈱東秀営業部　次長
平成13年電気科卒業
髙村　涼

私が呉工を卒業して15年。この度、随想を書く機会を頂きもう一度あの頃の思い出を振り返るきっかけを頂きました。
地元ということもあり、多くの先輩や後輩に囲まれて楽しい高校生活を送ることができました。
私は電気科B組に在籍し軟式野球部で3年間を過ごしました。
軟式野球部では主将も務めさせていただき弱小ながら県外遠征にも行く機会を頂きました。
入学早々他校の校長が急逝されて急遽私の担任が教頭としていかれるハプニングがありましたが今でも当時の担任とは会えば話をさせて頂くほどの関係です。
こうした一期一会の出会いも高校生活ではとても刺激のあるものでした。
卒業後も「くれこう同窓会」を通じ多くの先輩方との交流ができる場を作っていただき毎年、毎日出会いという刺激を感じながら生活をしております。
呉工を卒業後、自動車整備の専門学校へ行き民間車検場へ就職しましたが10年後退職を機に電気科卒業として電気工事士の資格を持たなかった私は当時の担任に電話をして電気工事士を取りたいと伝えました。担任の先生のおり仲間が呉工にいらしたので連絡をとってくださり放課後生徒と混ざり3ヶ月ほど学生に戻りました。久々に上る坂道、いろいろなお思い出が蘇り熱いものがこみあげてきました。無事に電気工事士を取得、現在は㈱東秀で電気工事士として仕事をしております。
地域活性化の活動として呉から盛り上げ隊の副会長としても呉工への恩返しと思い地域貢献活動に参加させて頂いております。
これらすべてが、今までの素晴らしい出会いのおかげだと思います。
私には夢があります！その夢を抱かせてくれたのも呉工での３年間でした。
これからの日本を、呉を背負って行く年代として呉工を卒業された先輩方に恥じぬよう、これからも呉工生として今まで出会った皆さまに恩返しをしていきたいと思います。

経過報告

平成27（2015）年度
（平成27年7月1日～28年6月30日）

※平成27年
9月28日（月）
第1回運営委員会　於・呉工高
第40回総会と呉工祭について
10月31日（土）　呉工祭へ参加　於・呉工高
支部紹介のパネル展示
11月7日（土）　第40回総会　於・クレイトンベイホテル

※平成28年
2月29日（月）
同窓会入会式
濱田副会長　東会計　出席
3月1日（火）
卒業式
山路会長　出席　於・呉工高
3月21日（月）
呉市体協記念行事
亀田専務理事　出席　於・クレイトンベイホテル
4月7日（木）　入学式
山路会長　出席　於・呉工高
4月22日（金）
第2回運営委員会　於・呉工高
第41回総会と呉工祭について
5月31日（火）
第3回運営委員会　於・呉工高
第41回総会と役員改選について

くれこう同窓会役員（案）

名誉会長　奥原　國雄（S34・機械）　ケムコ商事
会長　山路　恵司（S49・電気）　豊國
副会長　生駒　年美（S54・電気）　コトブキ技研工業
会計　濱田　拓（S57・金属）　ハマダ製作所
東　忠昭（S52・機械）　福興商事
高下　朋彦（S56・機械）　日本プラント設計
会計監査　荒谷　賢郎（S40・電気）　府中屋商事
山本　謙一（S42・計測）　豊國
専務理事　亀田　秀朗（S42・電気）　RETIRED
常務理事　井出本　猛（S38・機械）　アメニティサービス
賀谷　満夫（S42・金属）　賀谷鎔接所
橋本　孝則（S42・電気）　トゥモロー
三條　進（S42・金属）　シライ
庶務　濱田　壽夫（S49・金属）　呉工業高校
支部長　田中　明（S50・電気）　呉市上下水道局
実行委員長
実行副委員長　平山　大（H18・電子）　三菱日立PS
実行副委員長
都甲　昌幸（H3・機械）　新日本造機
横段　幸男（S51・電気）　中国電力
中川　猛（H2・電気）　日新製鋼
柴村　正良（S62・機械）　中国工業
西本　幸夫（S59・機械）　コトブキ技研工業
伏岡　秀治（S61・電気）　ディスコ
沖田　真治（S54・計測）　ミツトヨ
八城　秀樹（H3・電気）　中電工
東　博道（S46・電気）　淀川製鋼所
田鍋　栄次（S51・計測）　豊國
年度理事
濱田　義朗（S44・計測）　リブリント広
東風上　仁（H6・電気）　東風上商店
新中　京治（S57・電気）　ジェイテック
阿部　孝夫（S50・電気）　くれ産業振興センター
平田　徳幸（S49・電気）　呉市立倉橋中学校
相田　正樹（H25・電気）　高橋KO堂
向田　和生（H3・機械）　JMU
矢野　直樹（H3・機械）　矢野鉄工
国安　修（S48・金属）　ディスコ

理事の委嘱

第57回平成28年３月卒業

年度（学年）		
理事	佐々木蓮太（A3）	
副理事	古本　安美（K3）	
機械科Ａ組		
理事	上田　湧也	
副理事	高尾　涼太	
機械科Ｂ組		
理事	平岡　健也	
副理事	重本　一輝	
電気科		
理事	佐川　光大	
副理事	刀禰　雄太	
電子機械科		
理事	丸山　倖正	
副理事	荒槇　啓太	
材料工学科		
理事	小笠原林香	
副理事	山口　京耶	

部活動の記録

軟式野球部
第61回春季広島県高等学校軟式野球大会　準優勝
第24回中国地区高等学校軟式野球大会出場
ハンドボール部
広島県総合体育大会　ベスト４
美術部
平成28年度広島県献血ポスター最優秀賞受賞
ものづくりコンテスト広島県大会
旋盤作業部門（機械研究部）３位
溶接作業部門（機械研究部）３位
（中国地区大会出場）
電気工事部門（電気研究部）３位

資格取得
平成27年度ジュニアマイスター認定数
ゴールド認定（45点以上）４名
シルバー認定（30点以上）19名
危険物取扱者試験乙種全類取得者数　３名
ジュニアマイスター認定は、全国工業校長協会が生徒の資格・検定の取得状況を総合的に判定し点数化したものです。また個々の資格検定の取得状況については、呉工ホームページをご覧ください。

平成27年度進路状況について

（進路指導部　齊藤　剛篤）

昨年度の就職状況は、企業の円安による業績回復基調に加え、定年による大量退職等で人手不足感が強く、高い採用意欲につながり、本校への求人数も二年連続で大幅増となった。具体的に、呉地区で昨年度の1.3倍、県内地区で1.2倍、県外地区では1.4倍であった。

全体としては、求人企業数が383社（前年度より66社増）、求人数は660名（前年度より158名増）でした（理美容・調理は除く）。公務員等を除く学校紹介による就職試験の受験状況については、９月中旬から開始される一次試験では111名の生徒が受験し、うち95名の生徒が内定を頂くことができました。一次内定率は85・6％（前年比プラス4.3％）で、二年連続で改善することができ、80％の大台を回復しました。

その後、不合格だった生徒も二次試験以降で内定を頂くことができ、就職希望生徒の全員（125名）が進路決定することができました。

進学については、推薦入試を中心に大学18名、短大３名、専門学校19名が合格しました。

主な就職先（順不同）

（呉地区）
㈱IHI　呉事業所
IHI運搬機械㈱　安浦工場
コトブキ技研工業㈱
ジャパンマリンユナイテッド㈱
㈱ダイクレ
㈱ディスコ　広島事業所
三菱日立パワーシステムズ㈱　呉工場
㈱ミツトヨ　広島事業所
中国工業㈱
新日本造機㈱　呉製作所
新日造エンジ㈱
日新工機㈱
日新製鋼㈱　呉製鉄所
松本重工業㈱
㈱淀川製鋼所　呉工場
㈱ユーシン　広島工場……他

（県内）
JFEスチール㈱　西日本製鉄所
JFE電制㈱　福山事業所
スタンレー電気㈱　広島工場
㈱テックササキ
マツダ㈱
ベバストジャパン㈱
田中電機工業㈱
㈱中電工
㈱東プレ　広島事業所
㈱日本製鋼所　広島製作所…他

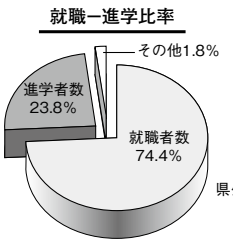
（県外）
トヨタ自動車㈱
㈱レールテック
㈱ユーテック

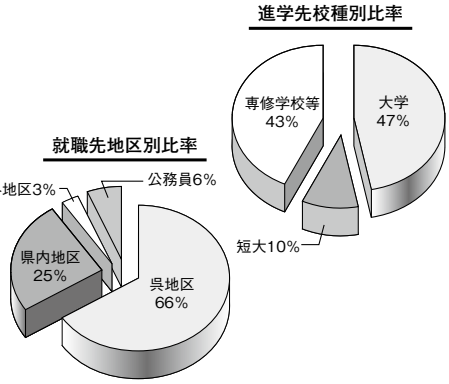
（公務員）
自衛隊

主な進学先
近畿大学
広島工業大学
広島経済大学
福山平成大学
広島国際学院大学　自動車短期大学部
広島文化学園大学短期大学部
広島工業大学専門学校
広島情報専門学校
ホンダテクニカルカレッジ関西…他

平成 27 年度　卒業生の進路先内訳

学科		機械科		電気科		電子機械科		材料工学科		計	
		27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年
進学	大学	5	11	1	2	9	9	3	1	18	23
	短大	1	5	0	0	0	0	2	0	3	5
	専修学校等	9	6	3	4	3	10	4	1	19	21
	高等専門	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	15	22	4	6	12	19	9	2	40	49
就職	呉地区	37	41	11	15	17	7	17	14	82	77
	県内地区	12	9	5	11	9	4	5	6	31	30
	県外地区	3	1	1	2	0	1	0	0	4	4
	公務員	5	2	1	0	0	2	2	1	8	5
	計	57	53	18	28	26	14	24	21	125	116
その他		1	1	1	1	1	0	0	2	3	4
合計		73	76	23	35	39	33	33	25	168	169





母校教職員　四月人事異動（敬称略）

《退職》
西川　真久　臨採任用期間満了
増本　忠則　再任用期間満了
岡村　康之　再任用期間満了
松浦　正史　臨採任用期間満了
濱田　壽夫
鷹取　昌史

《転出》
鷲見　浩介　呉昭和高　数学
上山　圭一　全総体事務局（～9月末）
山岡　伸行　保健体育　西条農業高
堀　正太郎　機械科　広島工業高
上野　真　電気科　福山工業高
河村　純也　電子機械科　福山工業高
後藤　史弘　材料工学科　神辺高
高田　聖子　養護教諭　呉商業高
杉本　健　総括事務主任　広島工業高

《転入》
田中　洋之　高陽東高
宮﨑　優熙　理科　新採
熊谷真之介　保健体育　臨採（～9月末）
玉川　哲将　機械科　呉工業高（定）
佐々木史　機械科　臨採
西亀　正文　機械科　臨採
吉岡　一彦　機械科　西条農業高（再任用）
清水　雄二　電気科　新採
寺内　裕香　電子機械科　臨採
海段　賢臣　材料工学科　臨採
中原　敬子　養護教諭　安芸南高
中須賀辰朗　事務主任　五日市高

お悔やみ申し上げます
満福　弘之　先生
坂田　輝明　先生
橋本　秀人　先生
寺内　裕也　先生　平成28年1月30日逝去
中畦　輝雄　先生（一昨年）
名誉顧問　松前みのる
平成27年3月16日逝去

編集後記

★お酒と意見が合うせいか、仁方の酒&三次・世羅のワイン等が地元のみならず、国際線の旅客機に載り羽ばたいている記事が、つい、眼に焼き付いてしまいます。我が、呉工機械研究部も高校生技能オリンピック・ものづくりコンテスト、溶接技術にと頑張っているのを見ると嬉しい限りです。これらの技術を生かし磨いて社会に出て翔んでもらいたいものです。

（亀田　秀朗）

発行所
呉市阿賀北二丁目一〇―一
広島県立呉工業高等学校内
くれこう同窓会
☎〇八二三―七一―二一七七
FAX〇八二三―七一―二一七九
発行日
平成28年8月吉日
印刷
株式会社ユニックス
☎〇八二三―七二―八〇〇〇